

指扇小だより

学校の教育目標 **やり抜く子の育成**

かしこく やさしく たくましく あたたく

11月号 令和4年10月28日 第7号

さいたま市立指扇小学校

〒331-0078

さいたま市西区西大宮1丁目49-6

電話 048-623-0133 FAX048-624-2200

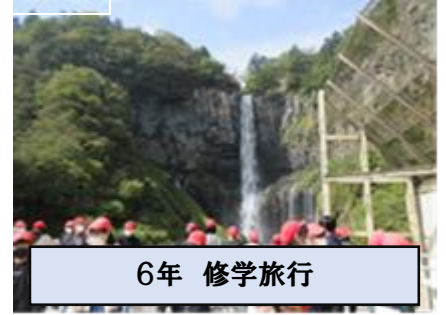
【児童数】男子429名女子443名計872名

共創・共奏 ～笑顔の花咲く指扇～

校長 引間 陽子

朝晩の気温が低く、すっかり秋深しとなりました。本校の周りでも街路樹のハナミズキの葉や実が赤く色づき、目にも美しい秋を感じます。

今月の4、5日には、6年の修学旅行が実施されました。紅葉はまだ始まったばかりの様子でしたが、大自然を満喫し、多くの貴重な体験活動をし、子どもたちはたくさんの素晴らしい思い出を作ったことでしょう。華厳の滝、湯滝、竜頭の滝、どれも迫力満点。足が棒になるくらい歩いた戦場ヶ原は、広々とした草原を味わいながら、堂々と聳える男体山を見上げました。荘厳な雰囲気味わえた日光東照宮では、白く輝く美しい佇まいの陽明門をはじめ、多くの歴史の建造物をじっくり見学することができました。学校から遠く離れた日光の地で、子どもたちが一つ一つの経験を通して、6年生らしい行動力、助け合うチームワーク等、子どもたちの成長する姿が見られました。



6年 修学旅行

さて、今年度さいたま市では、全ての市立学校がコミュニティ・スクールを開設し、学校、家庭、そして地域が一体となって子どもたちの健全育成に全力を尽くすとともに、学校を中心としたラーニング・コミュニティづくりへの貢献が期待されています。本校では推進を図るため、さいたま市コミュニティ・スクール横断幕“子どもの未来をつくる 地域の未来をつくる さいたま市コミュニティ・スクール”を南校舎の入口頭上に掲示しました。

本校のコミュニティ・スクールを牽引する組織、学校運営協議会が開催され、10月20日には、第2回目の会議が行われました。まずは、本校の目指すテーマを第1回、第2回の協議から学校、家庭、地域でも親しみやすく合言葉になるようなものを考え、「笑顔の花咲く指扇」に決定しました。この言葉には、令和5年度に迎える150周年の歴史と伝統のある指扇小学校が益々、笑顔いっぱいになることを願う気持ち、指扇に集う人々が笑顔の輪を作り合う仲間になることを期待する気持ち、などを込めています。この活動を通して、本校が考える目指す学校像は、『「教育は人なり」をモットーに、笑顔輝く子、力を磨く教職員、考える組織の学校をつくる。教育目標「やり抜く子の育成」の実現のため、チーム指扇小が一丸となり、学びの改革を推進する。そして、コミュニティ・スクールを開設し、取組を拡充する。』としています。具体的な重点目標は4つ掲げました。

- 1 主体的・対話的で深い学びを実現するため、教育指導の充実に努める。
- 2 安心・安全の視点の下、教育環境の整備に努める。
- 3 子どもを見守る教育の推進を図るため、学校・家庭・地域との連携を深める。
- 4 専門性・得意分野を生かしたプロ集団を目指し、教職員研修の充実に努める。

第1回、第2回と委員の皆様からの御意見を頂戴して、本校のコミュニティ・スクールが大切にしていきたい方向性も煮詰めてきています。キーワードは「社会性」「郷土愛」等が挙げました。既に行っている地域や学校の行事は財産である。その行事をコミュニティ・スクールという視点から改めて価値付けていくのがよい。小中の連携もさらに強めよう。地域にあるもの



さいたま市コミュニティ・スクール横断幕

を知ったり体験したりする機会を作ろう。ボランティア活動で挨拶やコミュニケーションが広がることが期待できる。異世代や多様な人とのかかわりを創出していくことがよい。など、貴重な御意見をいただきました。共創（多様な立場のステークホルダーと対話しながら、ともに新しい価値を生み出していく考え方）、共奏（共に奏でるつながりを育むコミュニティ）という言葉があります。そんな言葉に象徴されるような素敵な学校を育みます。ふと、地域の方から本校の児童と教職員から挨拶してもらって嬉しかったというお電話を頂戴したことを思い出しました。心がポカポカ温かくなりました。「こちらこそ。ありがとうございます。これからも・・・。」